

科目名 (英)	衛生管理 I (Hygiene)	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	鈴木久美子
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	火曜日1~3限、金曜日1~2限

美容専門学校卒業。数年間のサロンワークを経験後現在は各撮影やブライダルのヘアメイク業務に携わっています。将来皆さんが美容業に就くにあたっていろいろと参考になる知識や現在の状況、情報をお伝えすることができます。
目的:不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて行う美容業務。その業務に就くうえで個人としての衛生を保つ事は元より、感染症の予防、衛生措置の重要性を学ぶ。

【授業を通じての到達目標】

衛生管理の意義と本質を明らかにする。国家試験科目でもあるため、各項目の重要点をまとめたプリントや問題集を用いてより理解を深める。また、問題集等を利用して苦手箇所を反復し克服する。

【使用教科書・教材・参考書】

日本理容美容教育センター発行『衛生管理』教科書、プリント、問題集等

【授業外における学習】

回	授 業 概 要	テスト配点
1	感染症フィードバック・《感染症発生の要因》	
2	《感染予防3原則・主な感染症》	4点
3	《主な感染症、法律上の分類(一類～四類)、病原微生物との結びつけ》	
4	《主な感染症、法律上の分類(五類)、病原微生物との結びつけ》	4点
5	衛生管理技術《消毒とは、消毒の意義、法の規定》	2点
6	感染症の重要ポイント等の確認	
7	☆ 中間試験 感染症 フィードバック	20点
8	衛生管理技術《消毒法の種類、必要条件》	
9	《保存上の注意、理学的消毒法》	4点
10	《理学的・化学的消毒法》	
11	《化学的消毒法》	4点
12	《すぐれた消毒法の条件、消毒薬の概要》	2点
13	《器具の使い方、希釈法、器具類の消毒》	
14	衛生管理技術(重要ポイント等の確認)	
15	☆後期期末試験・衛生管理技術(8~13回) フィードバック	60点

【特記事項】毎回必ず名札を付ける事。中間・期末試験時は学生証も持参する事。毎回 教科書・プリント記入にあたり筆記用具(マーカー含む)を必ず持参すること。

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価

A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)

D評価(60~69点)

E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	保健 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大久保 幸美
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期 全15回(15コマ)
学科・コース	美容師科			曜日・時間	1組・5組は木曜日・2組3組4組は金曜日		
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
人体構造に関する講義では、学生たちが人体に興味を持てるような内容の授業を展開していく。まずは「人体の仕組みや構造に興味を持ってもらうこと」が知識習得の近道であるため、実際に自分達の生活や経験に関連付けた内容で、わかりやすく説明し、名称の暗記等だけでなく、根拠に基づいた深い理解を目的とする。皮膚科学においては、1章・2章で学ぶ皮膚の基本構造の習得が、その先の理解に大きく影響してくるため、序論の部分が確実に学生の知識となることを目的とする。疾患等の内容に関しては、美意識や美容などの話題を取り入れ、余談のような形式で伝えることで、学生たちの興味や関心を惹き、記憶に残りやすい伝え方で展開していく。							
【授業を通じての到達目標】							
人体構造、皮膚科学ともに、2年次での再確認や復習に役立つような内容の授業を展開していく。毎回の授業で確認テスト(小テスト)を実施し、各回ごとに自分の得意不得意を明確にしていく。1年次においてもできるだけ「試験に慣れる」「4択問題に慣れる」といった国家試験を意識した進め方に重点を置き、期末試験までの間に小テストを計12回、中間テストを計2回計画。頻回にテストを経験することで、国家試験に向けての意識を高め、出題傾向を把握し、正解率の精度を高めていくことを達成目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
教科書・講師作成PP資料(毎回プロジェクター使用)				各回のテスト範囲を事前に伝えることで、自宅学習・事前学習の動機づけとする。			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	1 編 第 1 章 頭部、顔部、頸部の体表解剖・第 2 章 骨格器系					30問(2択問題) 2点満点	
2	1 編 第 3 章 筋系					30問(2択問題) 2点満点	
3	1 編 第 4 章 神経系					30問(2択問題) 2点満点	
4	1 編 第 5 章 感覚器系					30問(2択問題) 2点満点	
5	1 編 第 6 章 血液と免疫系					30問(2択問題) 2点満点	
6	1 編 第 7 章 循環器系					30問(2択問題) 2点満点	
7	1 編 第 8 章 呼吸器系 ・ 第 9 章 消化器系					30問(2択問題) 2点満点	
8	中間テスト① 1 編 「人体の構造及び機能」					20問(4択問題) 10点満点	
9	2 編 第 1 章 皮膚の構造					30問(2択問題) 2点満点	
10	2 編 第 2 章 皮膚付属器官の構造・第 3 章 皮膚の循環器系と神経系					30問(2択問題) 2点満点	
11	2 編 第 4 章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能					30問(2択問題) 2点満点	
12	2 編 第 5 章 皮膚と皮膚付属器官の保健					30問(2択問題) 2点満点	
13	2 編 第 6 章 皮膚と皮膚付属器官の疾患					30問(2択問題) 2点満点	
14	中間テスト② 2 編 「皮膚科学」					20問(4択問題) 10点満点	
15	期末試験 保健 1 編「人体の構造及び機能」 2 編「皮膚科学」					30問(4択問題) 60点満点	
【特記事項】保健に関しては「1編:人体構造」・「2編:皮膚科学」と内容が区分されているため、各編ごとと振り返りの意味でそれぞれ1回ずつ確認テストを実施。(中間テストとして計2回実施)。				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西島 明菜
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 (月)2組1限/3組2限/4組3限 (金)5組2限/1組3限
学科・コース	美容師科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験10年以上、美容技術理論・衛生管理・化粧品化学・運営管理の教員資格を持った教員が担当します。 美容の基礎知識であるため、内容を理解できるよう、パワーポイントやプリントなどを用いて授業を進めていき、クイズなど演習問題を解きながら授業を展開します。							
【授業を通じての到達目標】							
実際にサロンでも活かせるよう、ポイントを踏まえながら理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論2の教科書・プリント(授業に応じて配布)							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	エステティック						
2	エステティック						
3	ネイル技術						
4	ネイル技術					小テスト 5点	
5	メイクアップ						
6	メイクアップ					小テスト 5点	
7	中間テスト					中間テスト 20点	
8	中間テスト解説・日本髪						
9	日本髪					小テスト 5点	
10	着付けの理論と技術						
11	着付けの理論と技術						
12	ウエディング					小テスト 5点	
13	総合復習						
14	定期試験					配点 60	
15	定期テスト解説						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	運営管理	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋由香
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	月・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師養成施設の講師歴は15年以上です。高等学校第1種免許(公民)取得、更新済みです。会社員(従業員)また個人事業主(経営者)の経験もあります。将来皆さんが美容師として働く際に役立つ専門知識だけでなく、顧客として、従業員として、経営者としての観点から普段の生活にも参考になるような知識をお伝えします。 目的: 経営者の視点を理解し何を求められているのか、様々な視点から考えることができる基本的な知識を学び、美容の技術を習得する皆さんの力を顧客のために活かせるようにすることを目的としています。 概要: 美容師国家試験の筆記試験科目の1つです。この科目では、経営者の考え方や経営が果たす責任・役割、人を雇うことの責任や働くうえで求められる「年金、健康保険、雇用保険、労働者災害補償保険等」の各種保険や資金管理・税金について学びます。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師(社会人)に必要な基本的な知識を身に付ける。 様々な立場からの「物の見方・考え方」ができるように視野を広げる。 世の中の変化と競争に対し、柔軟な対応ができる美容師になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 運営管理							
回	授業概要					テスト配点	
1	本科目の説明 経営とは・経営者とは					小テスト 1点	
2	理容業・美容業の経営					小テスト 1点	
3	資金管理(収支・損益・コスト・税金)					小テスト 2点	
4	人という資源・労働者の権利					小テスト 2点	
5	美容の仕事と健康・社会人としての責任					小テスト 2点	
6	社会保険(公的年金)					小テスト 2点	
7	中間試験 (中間試験終了後)社会保険(公的年金)					中間試験 20点	
8	中間試験の解説 社会保険(医療保険)					小テスト 2点	
9	社会保険(医療保険)					小テスト 2点	
10	社会保険(労働保険)					小テスト 2点	
11	サービスデザイン					小テスト 1点	
12	マーケティング					小テスト 1点	
13	接客の実践(店内環境、受付、提案・質問、説明・調整、謝罪)					小テスト 1点	
14	接客の実践(トラブルと対応)					小テスト 1点	
15	定期試験					定期試験 60点	
【特記事項】 小テストは、Teamsを使用します。 中間試験、定期試験は、問題と解答用紙を配布して実施する予定です。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 美容実習Ⅱ	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	森口、中尾、前田、中山、佐々木、伊東、徳山、佐藤、山下、赤羽、田丸、山崎、中村、松永、長塚、北村、鷲尾、萩尾、小笠原、八谷、前川、手塚、板川、奥田、吉井、坂下、若林、井上
	学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	300 (10)	開講区分 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現役でサロンに勤務する美容師、ヘアメイクアーティストが将来実践の現場で活用できる技術、知識を基礎から応用まで習得できる授業を行う。カット、サロンワーク、カラー、シャンプー、ヘアメイク、メイクなど美容師としての技術全般を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
卒業後即戦力となる人材になる基礎を身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	カット応用技術 ①						
2	カット応用技術 ②						
3	カラー応用技術 ①						
4	カラー応用技術 ②						
5	カラー応用技術 ③						
6	シャンプー応用技術 ①						
7	シャンプー応用技術 ②						
8	シャンプー応用技術 ③						
9	シャンプー応用技術 ④						
10	サロンワーク応用技術 ①						
11	サロンワーク応用技術 ②						
12	サロンワーク応用技術 ③						
13	サロンワーク応用技術 ④						
14	メイク応用技術						
15	ヘアメイク応用技術						
【特記事項】 定期テストは模擬試験の結果を基に評価を行います。				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ Careers SeminarⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・神谷・尾崎・野村・長谷川
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師現場経験のある教員から、現場実習や就職活動時に必要な履歴書の作成(自己PR・将来の目標)の仕方を学ぶ。 就職活動に向けて模擬面接を行い、夢の実現のための心構えを持つ。							
【授業を通じての到達目標】							
就職活動に向けて必要なことを学び、行動が計画的スムーズに行えるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad・apple pencil							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	就職活動マニュアル/後期目標シート						
2	履歴書を書こう(学歴~資格)/スタイルブック制作<準備>						
3	履歴書を書こう(自己PRワークシート)/自分だけのスタイルブック制作					小テスト 10点	
4	履歴書を書こう(自己PR)/自分だけのスタイルブック制作						
5	履歴書を書こう(将来の目標ワークシート)/自分だけのスタイルブック制作						
6	履歴書を書こう(将来の目標)/履歴書完成					中間テスト 20点	
7	ヘルリンピック準備						
8	模擬面接準備						
9	模擬面接					小テスト 10点	
10	内規便覧 / スタイルブック発表						
11	サロン研究 / 全身写真						
12	就職活動に向けて、受験先の候補を調べる/履歴書作成						
13	保険の仕組み						
14	コンテスト準備 コンセプトシート作成						
15	コンテスト準備 コンセプトシート完成/仕込み					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	国際教育	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩本 賢矢
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
より広い視野で物事をとらえる国際的感性を学ぶ 他国の技術、知識、文化を学び自身の美容師としての幅を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイク技術、知識の幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				地域清掃を行い、街の環境美化に対する気配り心配りを養う。			
回	授 業 概 要						テスト配点
1							
2	・日本と海外のヘアメイクの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める						
3	・海外研修プログラムの概要を理解する						
4							
5							
6	・美容師科で例年行っている海外研修の内容を理解し、イメージを広げる						
	・昨年参加した先輩から話を聞き、学びを深める						
7	・研修先の施設を調べ、どのようなプログラムが行われたのかを理解する						
8							
9							
10	海外研修先のロサンゼルスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる						
	海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する						
11	日本との違いを学ぶ						
12							
13	ロンドン・フランスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる						
14	国ごとの考えの違いや、顧客の違いを理解する						
	海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する						
15	海外での学びの重要性を理解する						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅱ (選択授業)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷・長谷川
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	水
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現役美容師から最新の技術、知識を幅広く学び、美容技術向上をする。 パーマ、カラー、カット、メンズカット、レディースセットなどの技術を実践形式で学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
プロとしての身構え、気構え、心構えを学び、今後の美容師としてのマインドを向上し社会人基礎力を身につけることが出来る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad、名札、エブロン、クランプ、美容ウィッグ、テールコーム(ピンク) ダックカール5本以上、延長コード、タオル(何色でも可、授業内容により枚数は異なる)、カールアイロン、ストレートアイロン、スプレーヤー(トリートメントが入っていないもの)、シザーケース(シザー、カットコーム)							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	レディースカット(基礎)						
2	レディースカット(応用)					小テスト5点	
3	メンズカット(基礎)						
4	メンズカット(応用)					小テスト5点	
5	レディースパーマ						
6	レディースパーマ					小テスト5点	
7	メンズパーマ						
8	メンズパーマ					小テスト5点	
9	レディースカラー(デザインカラー)						
10	レディースカラー(デザインカラー)						
11	メンズカラー(デザインカラー)						
12	メンズカラー(デザインカラー)					中間テスト20点	
13	ヘッドスパ(トリートメント)						
14	ヘアショー準備						
15	ヘアショー					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			